

＜令和7年度主要事業＞

令和7年度の最重要課題である「人口対策」をはじめ、本市の持続力向上につながる6つのまちづくりの視点から分類した主な事業は、次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 （括弧内の金額は予算現額）】

1 人口対策

(1) 安心して子育てできる環境づくり

- ① 重層的支援体制整備事業費（利用者支援事業費（妊婦等包括相談型））
3,822千円(4,357千円)
 - ・妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、継続的な情報発信等を行い、必要な支援を実施
- ② 周産期医療支援事業費補助金
25,000千円(25,000千円)
 - ・市内唯一の分娩取扱い病院となった小樽協会病院に対する支援により、安定的な周産期医療体制を維持
- ☆③ 産後ケア事業費
4,283千円(4,296千円)
 - ・育児不安や心身の不調等を抱える母親を対象に、助産師等によるデイケア型及びアウトリーチ型ケアを実施
 - ・令和7年度からは、従来のデイケア型の受入月齢（生後4か月）を超えて、生後1年まで利用できる短時間のデイケア型を新設
- ◎④ 1か月児健康診査費
918千円(918千円)
 - ・生後1か月児の健診にかかる費用を助成することにより、児童の発達状況や育児上の問題等について確認し、早期発見による適切な支援を実施

- ⑤ 民間保育施設等整備支援事業費補助金
 - ◇小樽藤幼稚園
28,710千円(28,710千円)
 - ・小樽藤幼稚園が行う、園舎の耐震補強工事費用の一部を補助
 - ◇新光保育園
16,995千円(17,127千円)
 - ・新光保育園が行う、園舎の大規模修繕費用の一部を補助
 - ◇あおぞら保育園
7,300千円(8,910千円)
 - ・あおぞら保育園が行う、冷暖房設備の更新にかかる費用の一部を補助
- ◎⑥ 公立保育所等LED化事業費
13,272千円(14,190千円)
 - ・赤岩保育所、奥沢保育所及び子育て支援センター「げんき」等における照明設備のLED化改修を実施
- ⑦ 私立保育所等ICT化推進事業費補助金
961千円(3,150千円)
 - ・保育士の業務負担軽減を目的とした、私立保育所等のICT整備に対する補助
- ⑧ 保育士等就労定着支援事業費補助金
5,736千円(8,650千円)
 - ・保育士等の人材を確保するため、新規に就労した保育士等に対し一時金を支給（採用時10万円、3年目20万円、6年目30万円 合計60万円）
- ⑨ 重層的支援体制整備事業費
 - ◎◇おやこの集いの場整備事業費
50,413千円(50,557千円)
 - ◎◇おやこの集いの場運営事業費
16,200千円(18,743千円)
 - ・こども家庭センターとの連携や商業施設内で気軽に来館できるメリットを生かし、ウイングベイ小樽に子どもたちやその保護者たちが安心して過ごすことのできる地域子育て支援拠点を開設

⑩ 都市公園安全・安心事業費 89,439千円(114,800千円)
・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具や施設を地域住民のニーズを踏まえて更新

・小樽公園の再整備事業に先行して駐車場の整備等を実施
令和7年度 色内埠頭公園（色内3丁目）、どんぐり公園（桂岡町）、小樽公園（花園5丁目）

⑪ 総合公園再整備事業費（小樽公園） 2,150千円(2,750千円)
・水遊び場や大型複合遊具の設置など、子育て世帯を対象とした小樽公園の再整備を実施

令和7年度 実勢価格調査

◎⑫ 放課後児童クラブ運営業務委託料 408,350千円(412,250千円)
・市内に開設している放課後児童クラブのうち小学校（忍路中央小学校及び塩谷小学校を除く）開設分について、令和7年度から、開設時間を拡大したほか、サービスの充実・質の向上を図るため、運営業務を民間事業者へ委託

⑬ 部活動改革推進事業費 3,635千円(5,416千円)
・合同部活動（拠点校方式）における生徒の移動を支援

⑭ トイレ改修事業費（中学校） 170,063千円(221,445千円)
・校舎・屋内運動場トイレの洋式化等改修
令和7年度 西陵中、向陽中

⑮ 屋内運動場暖房設備改修事業費 35,449千円(49,000千円)
〈小学校 10,207千円(14,900千円)、中学校 25,242千円(34,100千円)〉
・老朽化した屋内運動場暖房設備の更新
令和7年度 張碓小、松ヶ枝中、向陽中

◎⑯ 照明設備改修事業費（小学校） 224,607千円(239,200千円)
・屋内運動場照明設備のLED化改修を実施
令和7年度 塩谷小、高島小、稲穂小、潮見台小、桜小、銭函小

◎⑰ 教育用端末整備事業費 317,006千円(326,810千円)
〈小学校 199,796千円(205,975千円)、中学校 117,210千円(120,835千円)〉
・「GIGAスクール構想」推進のため、令和3年度から使用開始した1人1台端末について、バッテリー損耗度等を考慮し、計画的な更新及び予備機の整備を実施
・新たな端末は令和8年度から使用開始

⑱ 学校給食費保護者負担軽減事業費 72,252千円(72,252千円)
・物価高騰により値上げが必要となる学校給食費について、保護者負担額が増額にならないよう、令和7年度の値上げ相当額の全額を補助

(2) 事業・就業への支援

⑲ 創業支援事業費 11,496千円(15,000千円)
・一定の要件に該当する新規創業者に対し、事務所等の賃貸料や内外装工事に関する費用を補助

⑳ 事業承継支援事業費 97千円(100千円)
・後継者不在等による廃業を抑制するため、事業承継に関するリーフレット配布による意識啓発、個別相談による状況把握により支援機関への引継ぎなどの支援を継続実施

- ②① 地域企業魅力発信支援事業費 1,595千円(2,200千円)
- ・学生をはじめとする若い世代の市内企業に対する認知度向上を図り、将来のマッチング力向上につなげることを目的として、市内企業が自社の魅力や情報等を発信する機会を提供するため、企業出前講座や企業見学ツアーなどを実施
- ◎②② 看護職員確保対策事業費 2,167千円(2,200千円)
- ・市内における看護職員の確保を図るため、市内医療機関の魅力を効果的に発信するWEBサイトを開設するとともに、学校訪問やチラシ配布、SNSへの広告掲載などによりWEBサイトの周知を実施
- ◎②③ 介護人材キャリアアップ支援事業費 325千円(3,645千円)
- ・介護人材の安定的確保を目的として、市内介護サービス事業所等に一定期間以上就業しているなど諸要件を満たした方に対し、介護の資格取得等に係る研修費用の一部を助成
- ◎②④ 介護の仕事魅力発信事業費 1,870千円(2,000千円)
- ・介護職の大切さや魅力を発信し、介護職を選択する機会へとつなげるため、中高生を中心とした若い世代の方などを対象に出前講座や仕事体験を実施したほか、一般の方を対象とした介護の仕事就職支援セミナーを開催
- ◎②⑤ 外国人介護人材確保支援事業費 28千円(37千円)
- ・市内介護サービス事業所等で介護職として就労する外国人の方を対象として、介護の質の向上と、職場への定着を図るための研修会及び交流会を開催
- ②⑥ 看護師養成施設運営支援事業費補助金 54,212千円(56,500千円)
- ・地域の看護人材確保のため、小樽看護専門学校の運営経費の収支不足に対して支援

(3) 移住の促進

- ②⑦ 地域魅力発信事業費 3,960千円(3,960千円)
- ・FMラジオの事業者と連携し、「移住促進」と「関係人口の創出」を図るため移住と絡めた小樽市の魅力発信事業を展開
- ②⑧ 人口戦略推進事業費 8,566千円(9,500千円)
- ・移住者を定住に結びつけるための移住者ミーティング、小樽商工会議所内に開設した「移住・起業サポートセンター」の運営、市内の発達支援事業所や、宿泊施設などと連携した親子ワーケーション等の実施
- ②⑨ 移住促進事業経費 927千円(1,114千円)
- ・移住情報サイト「笑（え）になるおたる」等を通じ、潜在的な移住希望者に対する情報を発信
- ③⑩ 移住支援事業費 6,000千円(11,200千円)
- ・北海道との共同事業により、東京圏から移住し、就業の要件に該当する場合に支援金を支給
- ③⑪ 移住・定住促進住宅取得費等補助金 1,000千円(2,000千円)
- ・小樽市に転入し、すでに小樽市内に2年以上居住する世帯と三世代で同居・近居する場合に、中古住宅の購入や増改築等に要する費用の一部を補助

2 次世代を見据えたまちづくり

- ☆① ゼロカーボン推進事業費 5,991千円(6,661千円)
- ・市民向けには、地球温暖化に関するパネル展示や子ども向け製作体験教室などを行う環境イベントの開催やデコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）普及事業を実施し、また事業者向けには省エネルギー診断補助の拡充のほか、ゼロカーボン認定制度を創設
- ◎② 中小企業等省エネ推進補助金 9,735千円(10,000千円)
- ・市内中小企業等の脱炭素化を推進するため、省エネルギー診断により提案された省エネ対策に係る設備の更新費用等の一部を補助
- ③ 住宅エコリフォーム助成事業費 6,878千円(8,500千円)
- ・市民の住環境向上と、市内における環境負荷の低減を図るため、市内住宅の断熱改修や省エネ型設備機器などの省エネ改修にかかる費用の一部を助成
- ④ 観光船ターミナル整備事業費（債務負担分） 377,868千円(378,900千円)
- ・小型船だまりの整備に合わせて、多目的ホールを併設した観光船ターミナルを整備
 - ・脱炭素化の推進のため、Z E B R e a d y 仕様（高断熱設備及び高効率な省エネルギー設備を備えたもの）を採用するとともに太陽光発電設備を設置
令和7年度 ターミナル建築、電気設備、機械設備工事、工事監理業務
- ◎⑤ 市有施設太陽光発電設備導入事業費 13,750千円(14,500千円)
- ・市有施設への再生可能エネルギーの導入を推進するため、既存施設の太陽光発電設備の導入可能性について調査を実施

- ◎⑥ 運河倉庫群ライトアップLED化事業費 6,600千円(6,670千円)
- ・ロマネスクイルミネーションとしてライトアップしている小樽運河倉庫群について、投光器のLED化改修を実施
- ◎⑦ ダム記念館照明LED化事業費 3,276千円(3,773千円)
- ・朝里ダム記念館における照明設備のLED化改修を実施
- ⑧ 行政手続オンライン化経費 3,257千円(3,258千円)
- ・市民の利便性向上と業務効率化を図るための行政手続きや各種アンケート調査をオンライン化
- ◎⑨ 庁内行政キオスク端末設置事業費 6,461千円(10,339千円)
- ・市役所別館1階（戸籍住民課待合スペース）に、マイナンバーカードを利用して住民票・印鑑証明を取得できる「行政キオスク端末」を設置
- ☆⑩ 窓口キャッシュレス決済導入事業費 398千円(621千円)
- ・窓口での証明書発行手数料や入館料等の支払いについて、キャッシュレス決済可能な窓口を拡大（旧日本郵船㈱小樽支店）
 - ※導入済み：市民税課、戸籍住民課、サービスセンター（駅前、銭函、塩谷）、総合体育館、総合博物館（本館、運河館）、文学館・美術館
- ◎⑪ W i - F i 設備整備事業費（旧日本郵船㈱小樽支店） 6,623千円(7,399千円)
- ・重要文化財である旧日本郵船㈱小樽支店において、キャッシュレス決済のほか、多言語対応の展示形式を導入するため、W i - F i 環境を整備
- ⑫ 観光入込調査デジタル技術活用事業費 9,240千円(9,240千円)
- ・GPS人流データを用いた小樽への来訪者数等のデータを取得し、観光戦略の企画立案や各課題における効果的な施策検討に資する調査を実施

- ◎⑬ 電子契約システム導入事業費 182千円(1,078千円)
- ・契約事務における市・事業者双方のD Xを図るため、電子契約サービスを導入
- ⑭ A I ・ R P A関係経費 7,766千円(8,289千円)
- ・データ入力等の単純作業を縮減し、業務の効率化を図るためのR P AやA I ー O C Rなどを活用
- ⑮ デジタル外部人材関係経費 12,325千円(17,745千円)
- ・民間の知見を活かして本市のD Xを推進するため、専門的な知見からアドバイスや技術的支援を行う外部人材を招へい
- ⑯ 旧第3倉庫保全・活用経費 3,774千円(6,201千円)
- ・旧北海製罐(株)第3倉庫の維持管理を行ったほか、地域おこし協力隊の制度を活用し、第3倉庫の利活用案の実現に向けた事業実施体制の構築等を実施
- ⑰ ふるさと納税関係経費 611,244千円(618,534千円)
- ・「ふるさと納税」制度による寄附者への返礼品として地場産品等を贈呈し、継続的な返礼品の増強・磨き上げ及びプロモーションを展開
- ⑱ 企業版ふるさと納税関係経費 396千円(2,200千円)
- ・「企業版ふるさと納税」制度による寄附を促進するため、企業版ふるさと納税サイトへの掲載を実施
- ◎⑲ 市政アンケートモニター事業費 350千円(700千円)
- ・市民のニーズを適切なタイミングで迅速に把握するとともに、市政への市民参加を図るため、オンラインでアンケートを都度配信するインターネットアンケートモニター制度を導入
 - ・回答実績に応じてデジタルギフトによる謝礼を進呈

- ⑳ 新小樽（仮称）駅周辺駐車場等整備関係事業費 66,788千円(79,031千円)
- （うち、26,587千円(30,239千円)は令和6年度から繰越）
- ・新小樽（仮称）駅周辺のまちづくりを進めることを目的として、市が主体となって整備する施設等に関する設計・検討や調査を実施
 - ・令和7年度は、立体駐車場整備のための地質調査等を実施
- ㉑ 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 176千円(300千円)
- ・新小樽（仮称）駅の開業を見据え、その効果を最大限に活用した魅力あるまちづくりを進めるための協議会を開催
- ㉒ 森林環境整備事業費 10,251千円(10,346千円)
- ・森林の整備に関する管理権集積計画を作成し、市で管理が必要な森林の除間伐の実施、森林の公益的機能の普及啓発の促進
 - ・旭展望台周辺環境整備（眺望改善の間伐・剪定、大型看板・標識・ベンチ等老朽施設の更新、遊歩道丸太階段の補修等）
- ◎㉓ さくら学園長寿命化改修事業費 15,708千円(26,000千円)
- ・小樽市公共施設長寿命化計画に基づき、さくら学園の施設延命化を図るため、給湯・給排水設備等の改修を実施
- ◎㉔ 市民会館空調設備改修事業費 64,130千円(89,056千円)
- ・老朽化した小樽市民会館ホールにおける冷房設備の改修
- ㉕ 新総合体育館整備事業費 287千円(870千円)
- 新総合体育館整備事業費（整備事業者選定事業費）（債務負担分）
- 2,571千円(6,111千円)
- ・新総合体育館の整備を進めるため、設計・建設等を担う事業者の選定などを実施

②⑥ 手宮公園競技場整備事業費 9,796千円(9,797千円)
手宮公園競技場整備事業費（トラック等改修）（債務負担分）
212,971千円(239,889千円)

- ・日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場の公認継続に向けて、必要となる備品の購入・点検を行ったほか、トラック等の改修を実施

◎②⑦ 本庁舎整備検討事業費 25千円(692千円)
・建設費の高騰など社会情勢の変化を踏まえ、新庁舎の規模・機能のほか、概算事業費、財源、スケジュールなどについて再検討し、「小樽市本庁舎長寿命化計画」（令和4年2月策定）を改定

◎②⑧ 建築技術職員資格取得助成事業費 605千円(1,212千円)
・将来的な資格者の確保や建築技術職員の人材育成等を図るため、業務上必要な国家資格を取得した職員に対し、必要経費の一部を助成

◎②⑨ 戦後80年平和派遣事業費 977千円(984千円)
・市内在住の中学生を広島平和記念式典や戦争と平和に関する施設へ派遣

◎③⑩ 道路照明LED化事業費 1,949千円(2,000千円)
・既存の道路照明灯のLED化改修を実施

3 魅力を活かしたまちづくり

① 歴史的風致維持向上計画推進経費 2,828千円(8,352千円)
・小樽市歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認定を受けたほか、「歴史的風致形成建造物」指定候補の所有者に対する意向調査を実施

☆② 日本遺産推進協議会補助金 4,155千円(6,645千円)
・令和6年度に日本遺産認定を受けた「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の推進主体である小樽市日本遺産推進協議会への補助

③ 基部緑地整備事業費 250,120千円(461,400千円)
(予算現額のうち153,792千円は令和8年度へ繰越)

- ・賑わいや魅力づくりを目的に、市民や観光客が集うことができる空間として、第3号ふ頭基部を緑地として整備
令和7年度 護岸改良、緑地整備、港湾室庁舎及びトイレ解体

④ 小型船だまり整備事業費 一千円(45,000千円)
(予算現額の全額を令和8年度へ繰越)

- ・第3号ふ頭及び周辺再開発計画に基づき、小樽港で運航している観光船の乗り場を第3号ふ頭基部に集約

⑤ 観光船ターミナル整備事業費(新年度計上分) 12,253千円(14,000千円)
・観光船ターミナル利用者の利便性向上やインバウンド対応のため、Wi-Fi環境やデジタルサイネージの構築を行ったほか、什器等必要な備品を整備

◎⑥ 観光船ターミナル管理運営経費 10,170千円(13,900千円)
・観光船ターミナルの施設管理業務や除排雪などの管理運営

◎⑦ 第3号ふ頭周辺環境整備事業費 1,126千円(4,700千円)
・第3号ふ頭及び周辺再開発により歩行者交通量が増大する中、安全な交通環境を確保するために電柱を移設

- ◎⑧ 港湾関連 3 賞受賞記念事業費補助金 2,434千円(3,590千円)
- ・第 3 号ふ頭及び周辺再開発に関連し、小樽港が「ポート・オブ・ザ・イヤー」など 3 賞を受賞したことから、観光船ターミナル竣工に合わせ、行政と経済団体の連携により、式典及び受賞記念セミナー等を開催
- ⑨ 水産物ブランド化推進事業費 736千円(2,400千円)
- ・小樽おさかな普及推進委員会のホームページによる P R や、小樽水産加工品ブランド推進委員会の「小樽水産加工グランプリ」の開催による小樽の地魚や加工品のブランド化や販路拡大を支援
 - ・令和 7 年度は、グランプリ受賞商品のパンフレット作製やフェアの開催などの P R を実施
- ⑩ 海外販路拡大支援事業費 1,838千円(1,915千円)
- ・関連機関と連携し、海外販路の拡大を目指す市内企業等に対して、商談会、展示会等への出展や現地企業との商談を支援
- ☆⑪ 小樽産品販路拡大強化支援事業費 15,216千円(15,593千円)
- ・小樽産品の販路拡大のため、関東、関西、新潟での商談会への出展やお取り寄せチラシによる販売、新商品開発の支援を実施
 - ・令和 7 年度は、国外、道外への販路の開拓・販売への支援を拡充

4 活力を生み出すまちづくり

- ① サテライトオフィス誘致事業費 3,500千円(3,500千円)
- ・デジタル関連企業等のサテライトオフィス誘致を推進するため、専門的な知見を有する事業者へ委託し、地方進出検討企業とのマッチングを目的としたイベントへの参加やオンライン面談を実施

- ② 立地環境視察費用補助金 187千円(1,000千円)
- ・デジタル関連企業や製造事業者等に対し、オフィス等の開設を検討するための視察に要する費用の一部を補助
- ③ 企業誘致促進事業費 5,941千円(6,200千円)
- ・企業誘致に向けた産業展等への出展や、企業への訪問活動等を実施
 - ・令和 7 年度は、札幌圏の企業を対象とした設備投資動向調査を実施
- ④ 小樽港クルーズ推進事業費 9,247千円(20,000千円)
- ・官民協働の「小樽港クルーズ推進協議会」によるクルーズ船の誘致活動や受入態勢を強化
- ⑤ 環日本海クルーズ推進事業費 1,000千円(1,045千円)
- ・日本海側クルーズの寄港促進とブランド化を図るため、小樽港、秋田県 3 港、伏木富山港、京都舞鶴港の 4 地域の共同でクルーズ船の誘致活動を実施
- ☆⑥ 小樽港物流促進プロジェクト事業費 3,843千円(3,940千円)
- ・小樽港の物流促進のため、中国コンテナ航路の活用に向けたポートセールスを実施したほか、フェリー航路利用促進事業として、割安な旅行商品の企画販売や小樽周遊ツアー商品の造成
- ⑦ 観光誘致促進事業費補助金 8,811千円(9,911千円)
- ・一般社団法人小樽観光協会が実施する観光誘致促進の取組に対する補助
 - ・夜の観光振興の取組や、冬季閑散期対策を目的としたイベント等を引き続き実施

☆⑧ 外国人観光客誘致広域連携事業費補助金 6,618千円(6,618千円)

- ・行政と経済団体の連携により、海外に小樽観光の魅力を発信し、訪日外国人観光客の誘致を推進
- ・小樽国際観光客誘致実行委員会が取り組む、旅行代理店やランドオペレーター等による商品造成を促進するための外国語観光セールスツール作成やアドベンチャーツーリズムのコンテンツ造成を支援

⑨ おもてなし推進事業費 4,187千円(4,230千円)

- ・観光事業者や市民の全市的なホスピタリティの向上を図るため、小樽おもてなし認証推進協議会の取組を支援

◎⑩ オーバーツーリズム対策事業費 26,139千円(27,392千円)

- ・冬季の観光客の多い時期に、船見坂などに警備員を配置し、交通マナーや住宅地への立ち入り防止などの注意喚起を実施
- ・関係機関と連携しオーバーツーリズム対策連絡協議会で対応を協議

◎⑪ 宿泊税活用検討事業費 37千円(100千円)

- ・観光業界や宿泊団体の関係者、学識経験者などにより構成される検討会議を設置し、宿泊税の具体的な使途について検討

◎⑫ 南・西北海道広域観光事業費 306千円(413千円)

- ・北海道新幹線の札幌延伸を見据え、広域周遊観光を促進するため、沿線地域を含む自治体で連携し情報共有や交流事業を実施
- ・令和7年度は、函館市開催のイベントに参加し、合同PRを実施

◎⑬ 浅海増養殖振興対策事業費補助金 200千円(200千円)

- ・磯焼けによる海洋資源減少抑制を目的とした、浅海における昆布の増養殖設備の試験設置費用に対する補助

5 安全・安心なまちづくり

◎① 後志共同消防指令センター整備事業費（債務負担分）

1,355,013千円(1,546,000千円)

- ・後志管内消防指令業務の共同化に伴い、後志管内3消防本部（小樽市、岩内・寿都地方消防組合及び北後志消防組合）が消防指令センターを共同で整備

☆② 防災関係経費（避難所機能強化事業費） 4,553千円(4,665千円)

- ・各避難所の災害備蓄品として、備蓄食数を増加したほか、寒さ対策として石油ストーブを整備（令和7年度から順次）

◎③ 防災関係経費（防災資機材整備事業費） 2千円(44千円)

（債務負担行為額[令和8～11年度]5,143千円(6,290千円)）

- ・寒さ対策の備蓄品として、北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用し、不足する毛布を整備（令和7年度から11年度まで支払）

④ 除雪費 2,045,506千円(2,275,200千円)

- ・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施

⑤ ロードヒーティング更新事業費 31,206千円(158,688千円)

- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
令和7年度 桜8号線

- ⑥ 建設機械整備費 118,085千円(155,800千円)
- ・ 安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に更新・増強し、除排雪業務受託者に貸与
- 令和7年度 大型ロータリ除雪車1台更新、小型ロータリ除雪車1台更新、
タイヤドーザ1台更新
- ⑦ 空調設備整備事業費 41,868千円(53,551千円)
- ・ 各市有施設に冷房設備を整備
- 令和7年度 各公立保育所、こども発達支援センター、いなきた児童館、
勤労青少年ホーム
- ◎⑧ ヤングケアラー支援体制強化事業費 167千円(221千円)
- ・ ヤングケアラーの定義や相談先等についての理解を深めるための講習会や、ヤングケアラーの早期発見や課題を把握するためのアンケート調査を実施
- ⑨ 医療的ケア児支援事業費
- ◎◇放課後児童健全育成事業費（医療的ケア児支援事業費） 887千円(2,165千円)
- ◇医療的ケア児教育支援事業費（小学校） 3,843千円(4,271千円)
- ◎◇医療的ケア児教育支援事業費（中学校） 2,475千円(3,600千円)
- ◇医療的ケア児等総合支援事業費 1,718千円(2,971千円)
- ・ 日常生活を営むために医療的ケアを要する状態にある幼児・児童生徒に対し、小中学校や放課後児童クラブ、保育所等の利用を支援するため、看護師等を派遣
- ◎⑩ 重層的支援体制整備事業費（基幹相談支援センター事業費）（債務負担分）
24,640千円(24,684千円)
- ・ 地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務（身体障害、知的障害、精神障害）を実施する基幹相談支援センターの業務を委託

- ⑪ 地域生活支援事業費（代筆・代読支援員派遣） 140千円(1,662千円)
- ・ 視覚障害者の情報取得やコミュニケーションを容易にするため、障害福祉サービスを行う事業所に委託し、障害者の自宅等に代筆・代読支援員を派遣
- ☆⑫ 図書館施設維持補修費（駐車場整備事業費） 495千円(495千円)
- ・ 市立小樽図書館について、車椅子の方が利用しやすいよう、正面入り口前に障がい者用駐車スペースを整備
- ⑬ 夜間急病センター管理代行業務費（債務負担分） 227,800千円(227,800千円)
- ・ 本市の一次救急医療の拠点としての役割を果たしている夜間急病センターを指定管理者に委託
- ◎⑭ 介護施設等冷房設備整備事業費補助金 13,245千円(13,638千円)
- ・ 市内の入所系介護施設及び事業所が行う冷房設備整備に対する補助
- ⑮ 救急業務高度化推進事業費 40,035千円(40,051千円)
(令和6年度から繰越)
- ・ 高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材の更新
- ⑯ 消防・防災施設整備費 14,886千円(15,048千円)
(令和6年度から繰越)
- ・ 消防団の強化を目的として、小型動力ポンプ付積載車1台を整備

6 暮らしを支えるまちづくり

- ◎① 健康ポイント事業費 1,026千円(2,677千円)
- ・保健所のウイングベイ小樽への移転を機に、同施設で展開されている北海道済生会ウエルネスタウン構想のウイングベイウォーキング・ポイント付与事業と連携し、市のがん検診に参加した市民に対しても一定のポイントを付与
- ☆② がん検診推進事業費 2,767千円(3,158千円)
- ・がん検診の受診率向上を図るため、個別の受診勧奨や、子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン券の送付を行ったほか、未受診者に対する再勧奨を実施
- ③ 〔国民健康保険事業〕特定健康診査等事業費 68,577千円(87,197千円)
- ・国保加入者の特定健康診査受診率向上により病気の早期発見につなげるため、受診に係る自己負担額を無料とし、ＱＵＯカードを景品としたキャンペーン等を実施
- ④ ふれあいパス事業費 194,665千円(196,685千円)
- ・70歳以上の市民に対し「ふれあいパス」（バス又は鉄道の利用助成）を交付
- ⑤ 総連合町会補助金 14,991千円(15,117千円)
- ・地域コミュニティの要となる町会の安定的な運営と住みよい地域づくりのために積極的に活動を行う町会に対する支援
- ☆⑥ 街路防犯灯設置費補助金 3,840千円(3,898千円)
- ・街路防犯灯の新設及び既存街路灯具の改良・更新に要する費用の一部を補助
 - ・令和7年度から補助上限額を引き上げ、移設・撤去の費用など、新たに助成内容を追加

- ⑦ 公営住宅建替事業費（塩谷B住宅） 419,681千円(467,052千円)
- ・耐用年数を超過した住戸の解消や、集約化による適正な供給管理戸数の設定を図るため、計画的な市営住宅の建替を実施
- 令和7年度 塩谷B住宅 本体建設、工事監理

- ◎⑧ 空家等実態調査事業費 9,372千円(9,400千円)
- ・市内全域の空家等実態調査を実施し、次期空家等対策計画（令和8年度策定予定）の基礎資料とするとともに、空き家の流通促進等に活用

- ◎⑨ 用途地域等見直し推進事業費 7,469千円(8,085千円)
- ・「都市計画マスタープラン」における目指すべき将来都市像の実現を図ることを目的に「立地適正化計画」の策定に続いて用途地域等の見直しに取組み、土地利用の新たな規制と誘導等を推進
 - ・令和7年度は、土地利用の分析や用途地域等の不整合箇所の洗い出しなどを実施

- ⑩ 地域公共交通活性化事業費 2,970千円(3,159千円)
- ・持続可能な地域公共交通の確保・維持に向けた検討・協議を進める小樽市地域公共交通活性化協議会の開催や地域公共交通人材確保促進事業を実施
 - ・令和7年度は、小樽市地域公共交通網形成計画の一部改定を実施

- ⑪ 生活バス路線運行費補助金 26,504千円(30,000千円)
- ・市民の生活に必要なバス路線の維持及び確保を図るため、国の補助金で補填しきれないバス事業者の収支不足額に対する補助

- ◎⑫ 自動運転E Vバス実証運行事業費 31,157千円(32,780千円)
- ・バスの乗務員不足の中、市内バス路線網の維持に向け、課題解消の手段のひとつとして自動運転E Vバスの実証運行を実施

＜主な物価高騰対応重点支援＞

(1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、実施した事業		
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて、必要な支援をきめ細やかに実施できるよう国の補正予算、予備費で措置された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を以下の事業に活用		
【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】		
1, 887, 809千円[1, 892, 693千円]		
(令和8年度への繰越分を除く（事業費）)		
・定額減税調整給付金給付事業費	320, 336千円	[320, 336千円]
・令和6年度分住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業費		
	68, 748千円	[68, 748千円]
・障害福祉施設等物価高騰重点支援事業費	9, 416千円	[9, 416千円]
・介護保険施設等物価高騰重点支援事業費	23, 799千円	[24, 017千円]
・保育施設等物価高騰対策支援事業費	9, 627千円	[9, 627千円]
・公衆浴場・クリーニング業支援金給付事業費	8, 705千円	[8, 705千円]
・おたるプレミアム付商品券事業費	202, 438千円	[207, 104千円]
・学校給食費保護者負担軽減事業費【再掲】	72, 252千円	[72, 252千円]
・街路防犯灯維持費支援金給付事業費	17, 451千円	[17, 451千円]
・所得割非課税世帯向け物価高騰支援給付金給付事業費		
	419, 361千円	[419, 361千円]
・物価高対応子育て応援手当支給事業費（市上乗せ分）		
	50, 000千円	[50, 000千円]
・住民税非課税世帯支援給付金給付事業費	685, 676千円	[685, 676千円]
(令和6年度から繰越)		

(2) その他の物価高騰への対応事業

先に掲げた物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金関連事業以外に国庫支出金を活用し、以下の事業を実施

	【括弧内の金額は予算現額】
・物価高対応子育て応援手当支給事業費	203, 050千円(226, 000千円)
(予算現額のうち22, 950千円は令和8年度へ繰越)	